

教科	課題（現状、傾向、課題分析）	改善プラン（改善のための具体策や取組）	成果(○)と課題(△)
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>・場に応じた声の出し方に課題がある児童がいる。</li> <li>・文章を書くことに苦手意識をもっている児童がいる。また、自分の考えを整理して文章に表すことに時間がかかる児童が多い。</li>   <li>・大まかに話の内容を捉えて、自分の思いや考えを友達に伝えたりノートに書いたりすることができる。</li> <li>・物語文の場の移り変わりや登場人物の気持ちの変化を読みとったり、説明文の構造や内容の把握をしたりすることにまだ慣れていない。</li>   <li>・漢字の習得に個人差があり、既習の漢字を使って文章を書くことが定着していない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝の会などでスピーチをする機会を設け、話すこと・聴くことの経験を増やす。</li> <li>・目的を明確にしてから活動し、事後は、話した内容や話し方・聴き方を再考する。</li> <li>・学習への気付きや振り返り、日記など、書く経験を増やす。また、自分の考えとそれを支える理由を明確にして書くよう促す。児童のよい表現や書き方を認め、共有する。</li>   <li>・場面の移り変わりとともに描かれる登場人物の気持ちの揺れ動きについて、人物の行動や会話に関わる複数の叙述を結びつけながら読むことを繰り返す。</li> <li>・内容の中心となる語や文を見付け、段落相互の関係に着目しながら、筆者の考えとそれを支える理由と事例との関係などについて叙述を基に捉えるようにする。</li> <li>・学習した漢字を日頃から使うことを意識させ、文脈にあった漢字を使えるように定着を図る。</li> <li>・国語辞典を常に机の横に置き、いつでも調べられるようにすることで、語彙力や表現力を高める。</li> </ul>	
社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3年生になって始まった学習ということで、関心が高く、期待が大きい。</li> <li>・身近な地域や区の様子について理解や気付きが少なかったが、学習を通して自分たちのまちに興味・関心が高まった。</li> <li>・感染対策から現地へ赴き話を伺うことや体験がしにくい現状にあるが、「つつじまつり」の見学ができ、より地域への興味が高まった。</li> <li>・地図や写真、統計などの資料から情報を読み取り、考える力が必要である。</li> <li>・情報収集や整理の仕方、調べたことを絵地図・新聞などに表現する力を高める必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な課題と考えられるように、興味をもちそうな話題を投げかける。</li> <li>・モデルとなるノートを紹介し、よさを児童に伝える。</li> <li>・自分のまちに対する関心や郷土への愛着を高めるために、見学や話を聴くことと併せて体験活動も意図的に取り入れる。</li> <li>・ICT機器を活用した画像や動画などの教材準備の他、消費者としての保護者へのアンケートや、家庭での見学・調査の協力をお願いする。</li>   <li>・資料を読む活動を取り入れたり、読み取る時間を確保したりして、資料から読み取る楽しさを味わわせる。</li> <li>・単元の学習後に、新聞などにまとめる活動を取り入れ、作品を見合うことで、表現力を高める。</li> </ul>	

算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的な計算ができる。</li> <li>文章問題の問いを正しく読み取れず、計算はできても正しく答えられない児童がいる。</li> <li>問題場面を数直線などの図に表すことが苦手な児童が多い。</li> <li>考え方をノートに書いたり、説明したりする力が高まっている。しかし自分の考えに自信がもてない児童もいる。</li> <li>数量感覚や、単位の理解や換算の仕方を身に付けることが必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>けやきタイムや宿題で、学習内容を繰り返し復習し、更に基礎基本の定着を図る。</li> <li>文章から「分かっていること」と「聞かれていること」を色分けして線を引く活動を通して、問題を正しく読み取る意識をもたせる。</li> <li>具体物操作から、文章の通りに数直線などの図に表すことができるように繰り返し練習していく。</li> <li>見通しをもたせてから自分の考えをノートに書くようにし、気づきや間違いは加筆し、自分で見直す力を付けていく。</li> <li>自力解決だけでなく友達と相談しながら解決していく場面を設け、安心して取り組んだり自信をもって発言したりしやすい環境をつくる。</li> <li>ボードや書画カメラを活用して、考えを共有したり、多様な見方・考え方を認め合ったりする。</li> <li>実測するなど算数的活動の中で、数量感覚を養い、理解につなげる。日常生活と結び付けて考えられるようにする。</li> </ul>	
理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>観察や実験に意欲的に取り組んでいる。</li> <li>問題場面から観察・実験する目的意識が弱く、実験や観察の結果から考察することに苦手意識がある。</li> <li>身近な出来事と結び付けて考える力を伸ばす必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>問題把握→予想→観察・実験→結果→考察→結論を学習の進め方の基本とし、児童が見通しをもって活動したり、考えたりできるようにする。</li> <li>観察や実験の目的を明確にし、結果を図や表などを活用して分かりやすく整理する方法を助言する。</li> <li>「同じ」や「違い」に気付かせ、考察できるよう促す。</li> <li>児童にとって身近な事象を提示したり、実体験を話し合わせたりする活動を増やし、日常生活と結び付いた学習問題の設定や考察ができるようにする。</li> </ul>	
音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>リコーダーへの興味・関心が高く、何度も音を出して音色や奏法に親しんでいる。</li> <li>タンギングは、正しい奏法の定着度合いを個別に把握しながら指導を続ける必要がある。</li> <li>旋律の音の動きを感じ取って歌う学習を増やし、特徴の理解に繋げる必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>短い言葉での指示や電子黒板での視覚支援を続け、ちょうどよい息遣いや姿勢の保持で吹けるようにする。</li> <li>舌の動きだけを確認する時間を設けるなど、ポイントを絞った練習で奏法の定着を図り続ける。</li> <li>旋律を歌う時間と聴き取る時間を設け、動きを感じ取れるようにする。</li> </ul>	
図画工作	<ul style="list-style-type: none"> <li>楽しく図工の学習に取り組んでいる。</li> <li>見通しをもって活動することが苦手である。</li> <li>自分のつくりたいイメージをもつことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>指導者や友達と考えながらつくる。手順を細かく分けて考えるよう指導する。</li> <li>表したいものに応じて経験した技法を選択できるようにする。</li> </ul>	

<p>体育</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しいことにも挑戦しようとしたり、苦手な動きも諦めずに取り組もうとしたりしている。</li> <li>・運動内容によって、技能に個人差がある。</li> <li>・どのようにしたらできるようになるかを工夫し、運動を楽しむ姿勢をさらに伸ばす必要がある。</li> <li>・チームでの運動を行い、全員が活動しやすいルールや方法を考える機会になっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・映像資料やI C T機器を活用して見通しをもたせたり、自分の動きを振り返ったりして、めあてをもって取り組めるようにする。</li> <li>・作戦を考えさせたり、その結果を振り返らせたりする時間を設ける。</li> <li>・肯定的な言葉掛けができているチームを紹介する。</li> <li>・ルールやきまりの大切さを知ると共に、相手の立場になって皆が楽しめるように工夫することを促す。</li> </ul>	
-----------	--	--	--